キャラクター名: 玉城 舞(たまぐすく まい)

プレイヤー名:

シンドローム	モルフェウス エンジェルハィロゥ	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	中学生
オプショナル		年齢	15	性別	女
覚醒	死	衝動	恐怖	初期侵食率	35 %
出自	天涯孤独	経験	トラウマ	邂逅	慕情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	5	1	0			6
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	23
行動値	13
(非装備時)	13
戦闘移動	18
全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	5		ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	7	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報： FH	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
レイジングシューター	射撃	6r+3		10/15		マイナーで右の数値を使用可能
フォールンブレイド	射撃	6r+5				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
制服	
携帯電話	
コネ:噂好きの友人	
コネ:UGN幹部	
コネ:手配師	
ウェポンケース	
思い出の品	
デモンズシード	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
秘密兵器	P	N		
賢者の石	P	N		
三毛　晶	P 慕情	N 恐怖		
滝沢　朱里	P 懐旧	N 食傷		
滝沢　瑞樹	P 純愛	N 恐怖		
眞峰　花楓	P 信頼	N 無関心		
天音	P 友情	N 敵愾心		

最大財産P: 16	残り財産P： 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト：エンジェルハィロゥ	2	2	メジャー	-	-	-		
効果：	クリティカル値を-Lvする							
小さな塵	4	2	メジャー	-	-	対決		
効果：	攻撃力+[Lv*2]　射撃のみ							
天からの眼	3	2	メジャー	武器	-	対決		
効果：	判定+Lv個　射撃のみ							
ペネトレイト	1	3	メジャー	武器	-	対決		
効果：	装甲無視　判定ダイス-1個							
カスタマイズ	4	3	メジャー	武器	-	自動		
効果：	判定+Lv個							
レインフォース	5	2	メジャー	-	-	対決		
効果：	攻撃力+[Lv*2]　シンドローム							
マスヴィジョン	3	4	メジャー				100	
効果：	攻撃力+[Lv*5]　シンドローム							
光の舞踏	1	2	メジャー					
効果：								
主の右手	3	2						
効果：	判定+Lv個							
猟犬の鼻	1							
効果：								
七色の直感	1							
効果：								
効果：								
効果：								

高校1年生の女子高生、UGNチルドレン

幼い頃にジャームとバスの衝突事故で家族を失い死んでいる、オーヴァードとして復活している
その際に自分を庇う姉を殺すジャームを目撃してしまいそれ以来、血、炎などにトラウマを抱えている
ジャームから逃げる際に手に取ったのはなぜか近くにあった対戦車砲でそれから数十日間の人間を
避けるように逃げており、何度か保護しようとしたUGNに攻撃をし逃走した事があるためUGNにいる
事に居心地の悪さを感じながらも一人では生きてはいけない為に所属している
三毛晶は自身の数少ない友人で失った姉の温かみを一方的に感じており、それ失うことに恐怖心を持っ
ており、また何時消えてしまうかわからない、この甘さから逃れずに甘えている
友達は少なく自分からは滅多に関わりたがらない
元々お姉ちゃん子だったためか、姉に似てる三毛晶のいう事に逆らえない所がある
また事件のせいでやや幼い傾向にある
好物はラーメンや出前で食べられる料理や冷凍食品そして甘い物
好きなものは動物(一部を除く)、やわっこいモノ
苦手なものはジャーム、殺意、死
因みにだが日々ストレスが溜まっているためか過食気味だが元々大食漢の為、気付かれていない
更にジャンクフード好きなため身体を心配されがち
特定の条件に反応をしてしまい過激的になったり、恐怖感に襲われたりする

敵意ある相手には殺意を持って先に消してしまおうと考えてる